

ビルメンテナンス業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
1	11～ 12	空調機フィルター清掃作業の際、洗浄機のフィルターを脚立に乗って元の場所に取り付け完了の後、脚立から降りる時に左ふくらはぎに激痛を感じ、肉離れを負った。	57	30～ 49
1	13～ 14	客室清掃において、ベッドメイクだけを10台ほど連続して行った際に、腕をのばしたり、シーツを引っ張ったりという作業を続けて行ってしまったことにより、腕に負荷がかかり続けた状態となり受傷した。	53	300 ～ 499
1	9～ 10	清掃道具を6Fへ取りに行き、担当の3Fへ階段にて下りる際、5Fの踊り場付近で階段を踏み外し、右足首を捻挫した。	30	1000 ～ 9999
2	18～19	病院3階一般浴室清掃作業中、清掃の最後にバケツに入れた水で浴室の灌ぎ作業を行っていたところ、水の入ったバケツを持ち、水をかける動作が腰をひねる形になり、腰に痛みがはしった。痛みはあったが、そのまま作業を続け帰宅した。	68	300 ～ 499
2	10～11	ホテル客室内バスルームにて、浴槽を洗おうと屈んだ際、急に屈んだ為腰に痛みとしびれを感じた。	65	50～ 99
2	10～11	バケツの水を交換しようとしていたところ、散水栓前にある段差（約5cm）に足を躓き、左足首をひねり左足腓骨に全体重がかかって骨折した。	57	300 ～ 499
2	14～15	就労先のホテルにて午後から8階フロアの客室点検業務中、817号室の点検をしている時、常連のお客様の部屋（803号室）を最優先させるべく、責任者から被災従業員に803号室を大至急するよう指示があった。817号室から803号室へ走って向かう際、廊下のコーナーのところで足を捻ってしまった。	43	—

2	10~11	工場内トイレの清掃中、洗剤入りタンク（約20kg）を持ち上げようとした時脊椎部に負荷がかかり負傷した。	66	10～ 29
2	15~16	勤務先マンションの階段を10階から9階へ下りる際、左足を着地した時に膝に痛みが生じ、立ち上がれなくなった。	67	500 ～ 999
2	10~11	10階廊下にて、ゴミ回収時にゴミの取り忘れが無いか確認しようと振り返ろうとしたところ、溝に足が挟まり左足（踝と踝の間の骨）を骨折した。	59	100 ～ 299
2	15~16	ビルの地下にある池・滝の水を抜くために水中ポンプを持った状態で滝の外側に設置されている石の長椅子に乗り上げたところ、バランスを崩し転倒しかけたため、左足で強く踏ん張り、肉離れを起こした。	56	10～ 29
2	13~14	就業先現場の客室清掃中、ユニットバスの清掃後、部屋に行く為、左足から段差を降りようとして、敷いてあったマットで足が滑り、大腿部を捻り受傷した。	42	500 ～ 999
2	9~10	日常清掃の道具を準備する為、マンション1階の駐輪場内にある倉庫に行ったが倉庫の前に単車が停まっていた為、単車を動かそうと思い抱えた際腰からボキッと音がし、腰に痛みがはしった為、帰宅し、病院で診察を受けたものである。	64	300 ～ 499
3	16~17	担当マンションにて、共用廊下の腰壁の清掃作業を実施した際、左手に水が入ったバケツを持ち、右手にブラシを持ち、汚れをこすり落とす作業を中腰のまま、約4時間続けた。その結果、腰に痛みを感じ、日を追うごとに痛みが増し我慢できなくなった。	54	100 ～ 299
3	10~11	男子トイレ清掃中に掃除機を持ち上げた時に腰に鈍い痛みを感じたが、そのまま作業する。その後、痛みが酷くなってきて、圧迫骨折との診断を受けた。	75	300 ～ 499
3	10~11	清掃作業中に脚立から降りた際に、床に置いてあったドライバーを踏み捻挫した。	29	1～9
		床面洗浄後、二人でポリッシャーをゴミ庫から外へ出した。一人がポリッシャー		500

3	17~18	の取っ手部分、当事者がモーター部分をそれぞれ持ち、後ろ向きに移動した際、40cm程の段差で当事者が下側に立ち、ポリッシャーを降ろすとき、左足と腰を痛めた。	44	～ 999
3	10~11	ツイン部屋に設置してあったトリプルベッドの片付を2名で行い、ソファを元の位置に戻すため1人で抱えて元に戻した。そのあと腕に痺れが生じ、次第に腫れてきて、後日に右三角筋（右肩）肉離れと診断された。	40	50～ 99
3	10~11	駅にて両手にゴミ袋を持ち階段を下りていて、5段目ぐらいの所で右足を捻った。	68	100 ～ 299
3	9~10	ビルのごみ置き場にて散水の作業をしている時に、ごみ置き場にごみが満載の状態で無理な体勢で作業し、右わきに腹（肋骨）を骨折した。	79	100 ～ 299
3	14~15	勤務地マンションにて日業務であるマンション内巡回をしていた。敷地内の階段を使い1FからB1Fに向かう途中、下から2段目で足を滑らし転倒しそうになったため右足で踏ん張った。滑って体勢が不十分だったこともあり、右足の側面で踏ん張るような形になり受傷した。	65	1～9
3	11~12	空調設備の点検中、9階屋外機置場へ階段を使用して下りる際、排水用の溝の段差によろけて足首を捻った。	59	10～ 29
3	10~11	ワックス掛け準備作業中、本棚を移動するため班長と本棚を持ち上げた際、腰に激痛がはしった。	52	50～ 99
4	10～11	店のバックヤードで、清掃で使用して汚れたダスターに掃除機を掛けようとコードをコンセントに差し込む際、ジャバラホースに足がからまり、両足が開脚してしまった。その時に左手で体を支えようとして、掃除機に肘をついたところ痛みが発生した。	64	100 ～ 299
4	0～1	4F客室内でベッドメイク作業中、腰をかがめてベッドを動かした際に腰に激痛がはしり、痛みのため一瞬動けなくなった。	48	100 ～ 299

4	23～ 24	駅のゴミを回収し、台車でゴミ集積場へ運び、ゴミを集積場でおろし、出入口にて空台車をバックさせる際、足をふんばり力を入れたところ、左足の脹脛に激痛が走った。	48	～ 299
4	15～ 16	側溝において、池の排水管のつまり修理のため、側溝にある排水口出口のごみを除去する際、排水口出口まで近道をしようとして、側溝を斜めに飛び越え、隣地に渡った。隣地の側溝壁部分がアーチ形だったため、つま先がアーチ部分にあたり、踝骨折とアキレス腱損傷を負った。	64	1～9
4	9～ 10	校舎教室を清掃中、黒板下の教壇下に降りる際に足を滑らせて捻り、左足足首を骨折した。	70	1000 ～ 9999
4	11～ 12	ホテル客室での清掃作業中にベッドを跨ぐ際にバランスを崩し、左足を床につけた時に捻った状態となり、痛みが生じ捻挫した。	74	100 ～ 299
5	9～ 10	清掃中に清掃用具保管庫のシンクへ汚水を捨てようとバケツを持ち上げた際、腰椎を捻挫した。	45	300 ～ 499
5	7～8	当社現場において、オープン時の作業としてミールを黒カートを使用して搬送し、パントリーへ戻る際カートのキャスターの調子が悪く思った方向に進まず、進行方向に行くため足に力を入れた時、誤って足を捻ってしまい負傷した。	56	500 ～ 999
5	9～ 10	被災者が客室でシーツ剥ぎの作業中に腰を痛め、メンテナンス事務所に戻って、責任者に報告した。しばらく事務所で休んで歩けるようになったが、腰椎捻挫であると判明した。被災日の数日前にゴミの搬出で階段（3階から1階の間）を2往復した際、腰に違和感があった。	65	30～ 49
5	14～ 15	客室清掃ベッドメイク時、ベッドとテーブルの間に足を入れてベッドマットにシーツを挟み込む作業をしている時、足を捻ってしまった。しばらくしても痛みが引かず、左膝半月板損傷の疑いと診断された。	67	30～ 49
	13～	ホテル客室清掃中に包布を入れ込む作業中、前かがみで作業していたところ腰痛		300

5	14	が発生した。数日間は通常通り作業をしていたが、徐々に腰痛が激しくなった。	37	～ 499
5	17～ 18	出勤後、清掃控室にて当日の予定確認の為、ホワイトボード前にて腰を下ろしたところ、全く動けなくなった。本人に聞いたところ、4日前の作業時に掃除機を清掃カートに入れる時、腰に違和感を覚えたと初めて伝えられた。	27	500 ～ 999
5	13～ 14	バス車内で広告の貼付作業を終えて座席から降りる際、右足を床につけた時に足首を捻り、お尻から床に落ち、仰向けに倒れ尾骨を骨折し、足首を捻挫した。原因は、座席が高い事と後ろ向きで降りたため手すり等の支えが中途半端となり、不安定な状態で降りたのでバランスを崩し足首を捻ったものと思われ、そのため臀部を強打し、尾骨骨折に至った。	57	100 ～ 299
5	19～ 20	病院の食器洗場にて、悪い姿勢のまま食器を棚に直してしまい、手首を捻り痛みが発生した。	62	10～ 29
5	10～ 11	当日は午前中の清掃係が1人休みのため2人体制で行い、昼前には退院部屋の清掃も迫っていたので洗濯場に戻り、モップに付着したゴミを掃除機で吸引するために急いでしゃがみ込んだ瞬間に、立ち上がれない程の痛みが右膝に発生した。洗濯場なので安全な場所であり、外因による災害ではない。	60	10～ 29
6	10～ 11	清掃に必要なモップ洗浄作業時に、洗剤が入ったバケツ（20ℓ）を移動する為に持ち上げた際に、腰と左肩を負傷した。	63	500 ～ 999
6	9～ 10	清掃現場である部屋にてベッドメイキング作業中、シーツをベッドの下に入れ込んだ時、右手中指が逆方向に曲がってしまい負傷した。	51	100 ～ 299
6	9～ 10	清掃場所にて、受水槽の清掃を行う説明を受けた後、受水槽の蓋を引き上げようとしたが、簡単に動かなかったため力を入れて踏んばったところ、背中に激痛がはしり、腰椎を圧迫骨折した。	55	50～ 99
6	9～	B棟1階の居室において、居住者より、自分で起きられないため来てほしいとの連絡を受けたため訪問し、45kg位の女性居住者を抱えてベッドへ寝かせ直そうとし	67	300 ～

	10	た時、ボキッと音がして、腰に痛みがはしり動けなくなった。20分程経過した後、車椅子にて病院へ運ばれた。		499
6	9～10	清掃現場にて、ポリッシャーを階段で持ち上げた際、腰から左股関節を痛めた。	54	100～299
6	2～3	モップ作業中に、以前交通事故で負傷した肩に違和感が出てきて、再負傷した。	50	300～499
6	7～8	階段踊り場にあるトイレを清掃する為、地下から1Fへ右手に清掃道具を入れたバケツとビニールバックを持って上がっている時、手が滑ってビニールバックを落としそうになってしまい、右手小指で咄嗟に持ったところ、違和感があった。そのまま仕事をしていたが、腫れもひかずに手も握ることが出来なくなったので受診したところ、小指を骨折していた。	70	10～29
6	16～17	居住者より、ランニングマシンの走行ベルトにバランスボールが挟まり、重くて取り出せないのを見てほしいとの連絡があり、確認したところ、バランスボールが走行ベルトに挟まり、ベルトがよれて本体位置もずれていたため、ハンドル部分を前方に押し、後方を上げてボールを取り出し、本体設置位置を正しく直そうとした際、無理に力を入れてしまい、腰と背中を痛めた。	69	500～999
6	12～13	レジ清算台とレジ清算台の間に清算済みのカゴを回収するため、レジ清算台の隣に置いたキャスター付きの回収用カゴ入れに清算カゴを6個位（約4kg）を持って移し替えようとしたところ、脊髄及び肋骨を損傷した。	64	50～99
6	11～12	観光ホテルブライダル室内の清掃を行うため、室内の家具を別室に移動する作業を行っている時、重量のあるソファを持ち上げた際に腰を痛め、動けなくなった。（ソファは洗面台の横に配置されており、狭いスペースに身体を斜めに傾けた体勢で中腰になり持ち上げようとした。）	34	1～9
6	8～9	3F西病棟にて、しゃがんで清掃カートの整理を終えて立ち上がった時に立ちくらみを起こし、バランスを崩し、左膝に軽い痛みを感じた。当日はそのまま勤務をして、後日に痛みが増し、左膝外側側副靱帯損傷と診断された。	38	1000～9999

6	10～ 11	駐車場にて、1階から階下に降りるスロープを歩いている時に、後方から自転車が来たため、避けようとしたところ、左足に重心がかかり、足の甲部分に痛みがはしり、翌日腫れが引かず、骨折が判明した。	58	300 ～ 499
6	9～ 10	清掃員が病院東病棟の床をモップで清掃中、汚れが落ちないため力を入れて床を拭いていたところ、背中にズキッとした痛みが出た。痛みが引かず、MRI検査を受けた結果、腰椎圧迫骨折と診断された。	72	100 ～ 299
6	9～ 10	男性トイレの床面のモップ拭き中、ごみ箱を持ち上げて下をモップで拭き、ごみ箱を床に置こうとした時、腰の左側に激痛を感じた。	42	50～ 99
6	9～ 10	公園のトイレ床面に水を流そうとした際に発生したものである。床面にある空のバケツを手にとろうと腰を曲げた時、ぎっくり腰を発症した。腰を曲げ、まだバケツに手が届いていない状況で発症した。その場で動けなくなり、救急車を要請し、病院に運ばれた。	64	500 ～ 999
6	6～7	建物巡回警備中、通用口を施錠しに行こうとして移動中、足元の段差に気付かず、躓いた。左の足首を捻り、痛みはあったものの勤務終了まで勤務し、病院で診察を受けた。レントゲン及びCT検査の結果、骨折していた。	62	300 ～ 499
7	6～7	派遣先施設内2Fフロアの入居者の室内にて、介護リーダーと2人で入居者を車椅子からベッドへ移乗させる際、前から抱えて持ち上げた時に入居者が急に仰け反るように動いたため、転倒させないように踏ん張ったところ背中部分に激しい痛みを感じ立ち上がれなくなる。その場で歩けなくなったため、車椅子に乘せられ休憩室に運ばれた。戻って就業を続けようとするも動く度に激痛が走るため、その日は早退。背部挫傷により約2週間の加療と診断される。	53	50～ 99
7	14～15	物件の外階段の掃き掃除を行っている最中、誤ってステップを踏み外し右足首を捻ってしまう。作業後痛みが強くなっていた。骨折との診断を受ける。	41	10～ 29
7	17～18	お客様の自宅の清掃業を終え、会社に戻り、清掃道具を車から降ろしているときに、床洗浄機を左膝の上で受け止めた。翌日床洗浄機を受け止めていた箇所がうっ血していた。	78	10～ 29
	20～	機内清掃作業中、ストウエージビンにあったブランケットを回収しようとした。		100

7	21	しかし手が届かなかったので、座席上に立ち回収しようとしたところバランスを崩してしまい、着地した際に左足首付近を捻挫した。	24	～ 299
7	2～3	作業が終了し、道具類を片付け車に運んでいるとき、両手に荷物を持って道路への段差を下りたときに、バランスを崩して左足に全体重がかかってしまった。原因は、夜間で周囲が暗かったこと、両手に荷物を持っているにもかかわらず足元に注意を払わなかったためである。	34	10～ 29
7	13～ 14	廊下でカートからリネン袋を下ろすとき、誤って膝裏の靱帯を痛めた。	69	10～ 29
7	10～ 11	勤務先マンションにて清掃作業中、隣家の住民から植栽が越境していると言われ、剪定しようと、固定されている1段積みのブロックに乗って作業したところ足を踏み外し、左足首を捻り、左足踝を骨折した。	61	1000 ～ 9999
7	8～9	床の定期清掃作業中に、本館4Fトイレに水を汲みに行った際、床が濡れていたので滑りかけ、転倒しないように踏ん張ったとき、右足を捻り、右太ももを負傷した。	51	500 ～ 999
9	12～ 13	作業現場の南側立体駐車場付近で、駐車場1F巡回清掃中に両手に噴き上げタオル1枚、トング、ゴミ袋を所持して、駐車場から道路に出る際に段差でバランスを崩し、そのバランスを崩した足で踏ん張った際に左足を痛めた。	25	100 ～ 299
10	22～ 23	整備業務中、構内から車が出構しようとした際、入庫の車が来た為、右手で出構の車を制し、左手で車止めを移動（車止めの車輪が劣化により重くなっていた。）当初痛みはなかったが、左腕に黒っぽい反転ができて左腕全体がうっ血した。	73	30～ 49
10	14～ 15	B1階ドライエリアの落ち葉等を清掃する為に1階植栽作業用の階段を下り深さ約130cmの壁の上部に手をつき後ろ向きに足から降りようとした際バランスを崩し着地に失敗し右足の甲に痛みが走った。様子をみていたが痛みが引かなかった。	56	30～ 49
10	10～ 11	施設内の庭の草むしりをしていた所、同じ姿勢で作業をしていたため、立ち上がった際に足がもつれて左足の関節を負傷したもの。	29	300 ～ 499

10	14～ 15	清掃作業を終え、控室のある洗濯棟から駐車場に向かうため、建物を出るとき、他のスタッフがいないかよそ見をしており、15cmの段差を踏み外し、右足を捻挫した。右足関節捻挫で約14日の休業加療の診断を受けた。	49	500～ 999
10	14～ 15	校舎清掃作業で、3階男子トイレのSK（シンク）でモップを洗い、女子トイレへ移動しようとした際に、SKとトイレとの段差につまずき体勢を崩してしまった。その後、階段を下りるときに痛みがあった結果、左足小指を骨折と診断された。	69	100～ 299
11	18～ 19	ホテル内1階で、防音対策として、重厚な木製の板を店内貼り付けする為、同僚と2人で運搬していて、腰椎椎間板ヘルニアで入院が望ましいとの診断となった。	45	30～ 49
11	10～ 11	業務中就業先の外部駐輪場にて夏場の駐輪場を冬場は雪捨て場として利用する為、春に設置した駐輪用ブロックに付随したアームの取り外しをしていた。その際、当該従業員が単独でアームを持ち上げた際に、無理な体勢で力を入れ腰を痛めた。	19	50～ 99
11	13～ 14	バイクを使用して夕刊を配達中、夕刊をポストに入れようとバイクを降りた時に、溝に足をとられて右足を捻ってしまい負傷したものである。	48	10～ 29
11	10～ 11	自社倉庫で、荷物の移動中力が入り無理な体勢での作業をしたため、胸の捻挫となった。	35	10～ 29
11	14～ 15	アパート物件1階ハウスクリーニング業務にて、トイレ清掃、拭き上げ、庭の草取りをしている時、腰に違和感があったが業務を続け、清掃終了後、車に道具をのせた後乗車し、体勢を変えた際、腰に激痛があった。	33	10～ 29
11	16～ 17	エアコンのフィルター清掃中、5尺の脚立に登り片側のフィルターを外して降りている時に、脚立の下2段目から左足を床に降ろした時、左足のふくらはぎ中央が肉離れになった。	46	1～9
11	16～ 17	勤務マンションの1階ゴミ置き場にて、ダストカートで収集したゴミを置き、マンション内へ戻る際に、突風が吹いてダストカートが動いた。そのダストカートを止めようとした際に足が滑り、両足が広がった状態となった。当時は痛みを感じていなかったが、日に日に痛みを感じるようになり、病院を受診した。	64	50～ 99

12	9~10	就業場所に於いて、エアハの点検で屋上に向かい、屋上に出て30cm位の段差をまたいだ時、雪で滑って転びそうになり、段差に右手をついて体を支えた時に右肩を負傷した。	63	100 ~ 299
12	8~9	清掃担当フロア4、5階執務室内ゴミ箱のゴミ回収を行った。年末のため約5倍の量で、ゴミ箱には大量の紙くずがあり、ゴミカートに入れる際の腰曲げ屈み動作、ゴミカートからの取り出す動作で腰に負担が掛かり、徐々に腰に痛みが発生した。また、5階作業中に、机に積み上げられた物が崩れそうになり、防ごうとしたところ転倒しそうになり、その机の角で左脇を打撲し、左足を捻挫した。その後、腰の痛みを気にしながら、最低限やるべきトイレ掃除を行った。	67	100 ~ 299
12	11~12	沈殿池の蓋（50cm×150cm、6kg）を清掃するため持ち上げたとき、グキッとなり、腰に痛みがはしった。翌日は大丈夫だと思って仕事に行き、年末の掃除中に、バケツ（70?）に半分ほどのゴミを入れ、そのバケツをトラックに積んで焼き場に持って行き、バケツを抱えてゴミを焼き場に捨てるときに腰を捻り、前日の分も重なり痛みで動けなくなった。	35	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html